

道徳科学習指導案

令和4年〇月〇日（〇）第〇校時
2年〇組（2〇教室） 指導者 〇〇 〇〇

1 主題名 自分を信じて生きるとは…… D（22）よりよく生きる喜び

2 教材名 「本当の私」（出典 新しい道徳2 東京書籍）

3 主題設定の理由

（1）ねらいとする道徳的価値

本時の授業は、人間の心の中には弱さ・醜さもあるが、それを乗り越えようとする強さ・気高さもあることを理解し、人間として誇りをもって気高く生きていこうとする意欲を育てることをねらいとしている。学習指導要領のD（22）「よりよく生きる喜び」の「人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと」に基づいたものである。

人は誰もが、自分に自信がもてなかつたり、劣等感に悩んだり、誰かを妬んだり、恨んだりすることがある。そして、誰の心の中にも弱さや醜さがあり、「誰にも気付かれなければ良い」「自分の思い通りにしたい」という思いから、自分に都合の良い選択や行動をしてしまうこともある。欠点や弱点がない人間はいない。しかし、その裏側では、善悪の判断基準の過ちや、行動の誤った選択に悩んだり、自己嫌悪に陥ったりとその弱さや醜さを克服したいと願う心も持っている。人間は、総体として弱さを持っているが、それを乗り越え、次に向かっていく心の強さも持ち合わせ、そこにすばらしさがある。そんな自分を高め、身近な人間と良い関係を築き、人間としての強さや気高さを身に付けて生きようとする心情を育てたい。

（2）生徒の実態（計26名）

略

（3）教材について

アメリカで実際にあった事件に着想を得て創作した教材であり、主人公が目標達成のために使用許可のない薬物の使用を繰り返す心の弱さと、薬物使用を公表し、心の弱さを克服して前向きに生きていく過程を取り上げた話である。

主人公の「エイミー」は陸上世界選手権で金メダルを獲得したが、コーチから「サプリメントがドーピングになる可能性がある」との告白を受ける。二度とドーピングを行わないと決意し、練習に励むも成果は出ず、けがを負ってしまう。そんな時、「A社のものは検査をかいくぐれる」という情報が入る。結局、再びドーピングを行い、二種目で金メダルを獲得することができたのだが、自分自身や仲間を裏切ったことに苦しめられる。

金メダルを獲得するために一度はやめたはずのドーピングを、検査をかいくぐれるという情報から再度利用してしまったエイミーの姿と金メダル獲得後にドーピングを告白し、すべてを返還したエイミーの姿を通して、その裏に隠された心の葛藤やどうすれば自分に恥じない生き方ができるのかを多面的、多角的に深く考えさせ、ねらいに迫りたい。そして、人間の弱さとそれを克服する強さの両面を考えさせるという視点で本教材を活用したい。

4 指導の工夫

○事前指導として

- ・いけないことだとわかっているにもかかわらず自分を抑えられない自分自身の心の弱さについて問題意識をもたせるために、事前アンケートを実施し、身の回りで起こる場面を想起し、弱い自分に負けそうになる自分を見つめさせたり、その経験を思い出させたりする。

○本時の学習として

【導入の過程】

- ・具体的な場面での心の弱さや強さについて共有するとともに、人間の弱さや醜さが出てしまう場面でのどのように克服すれば良いのかと問題意識をもって授業に臨めるようにするために、アンケート結果を提示する。

【展開の過程】

- ・主人公に自我関与しながら、教材の内容を捉えられるようにするために、資料を3回に分けて配付したり、場面絵などを提示したりする。
- ・友達の考えを知ったり、自分の考えと比較したりして、多面的・多角的な考えをもてるようにするために、オクリンクを使用して、自分の考えを目に見える形で表現し、大型提示装置で共有しながら議論を進めるようにする。
- ・多様な感じ方や考え方に合えるようにするために、小グループ（4名程度）で話し合いをする場面で、Google Jamboard に自分の考えを短い言葉で表現させ、それを基に詳しく説明し合うようにする。
- ・話し合いに集中し、意見の異なる人からも謙虚に学べるようにするために、端末に表示した他者の意見を閲覧する時間と話し合う時間を区別し、話し合うときは画面をロックする。
- ・人間誰もが弱さ、醜さをもっていながらも人として自分に恥じない生き方をしようとしていること、そしてそれを乗り越えようとする強さや気高さもあることに気付かせるために、主人公に自我関与しながら、弱さや醜さに打ち勝ったときの心情について考えさせる。

【終末の過程】

- ・振り返りの場面では、気付いた自分自身のよさや課題を日常的な道徳的实践へと結び付けられるようにするために、これからの自己の生き方について考えさせる。
- ・葛藤する心情を自分の言葉を使って自然に表現するために、「だって」と「でも」という接続表現を使って振り返りをさせる。この接続表現は、肯定的な言動のあとに続く際には、本音と多少の不安感を表現し、否定的な言動の際には、表向きの気持ちとその奥に隠された繊細な本心を表せると考える。

○事後指導として

- ・本時の学習を定期的に振り返り、道徳的实践意欲や態度を育てるために、授業の振り返りを集約し、教室に掲示したり、生徒に配付したりする。
- ・日常生活の様々な場面を観察し、各々の弱さや醜さと戦ったり、打ち勝ったりしたと見取れたときは賞賛する。
- ・学期末等に本時の内容のアンケートを実施し、自分の行動の振り返りをさせる。

5 本時の学習

(1) ねらい

悩みながらも自分の弱さを克服した主人公に共感し、人間には自らの弱さを克服する強さがあることを理解し、誇りをもって気高く生きていこうとする道徳的实践意欲と態度を育てる。

(2) 準備

<教師>資料1・2・3, ICT 端末, パソコン, 大型提示装置, 掲示物

<生徒>ICT 端末

(3) 展開

主な学習活動	主な発問	指導上の留意点
生徒の反応・発言等〔S〕	☆ICT 活用<分類>	
<p>1 本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつ。(5分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">アンケート結果からどのようなことに気付きますか。</div> <p>S：いけないと分かっているけど、それを我慢できないのは自分の心の弱さなのかな。 S：私は正直に言えないけど、言える人もいるのだな。 S：建前ばかりで本当に正直に言っているのかな。</p> <p>【問題意識】 いけないことだと分かっているけど、自分を抑えられないことがあるな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"><めあて> 弱い自分に打ち勝つために大切なことは何だろう。</div>	<p>☆アンケート結果を大型提示装置で確認する。<共有></p>	<p>○Google フォームでとったアンケートを活用することで、問題意識をもつことができるようにする。</p> <p>○実態のアンケート結果を確認し過去を振り返ることで、正直に行動しなければならない気持ちはあっても、誰もが「心の弱さ」があるため、このような場面で悩んでしまうことに気付かせる。【人間理解】</p> <p>○人間は、弱さ・醜さ、強さ・気高さの両面をもっていることを知る。【価値理解】</p>
<p>2 資料1 (p13302まで)を読み、エイミーの気持ちを考える。(5分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">エイミーは「もう絶対に薬物には手を出さない。」と決めたのに、どのような気持ちでA社に向かったのだろう。</div> <p>S：本当にこれでいいのかと迷う気持ち。 S：練習の成果も出ず、けがもしてしまい苦しい。 S：どうしても金メダルが欲しい。 S：A社の薬はドーピング検査をかいくぐれるかもしれないから薬ではない。</p> <p>3 資料2 (p13405まで)を読み、道徳的価値についての考えをもち、交流する。(20分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">もし自分だったら、ドーピングを認める発表をしますか。しませんか。</div> <p>【発表する】 S：ドーピングして金メダルを取ってもやっぱりうれしくないから。 S：自分にうそをつきたくないし、苦しみたくないから。</p>	<p>☆自分の考えを、オクリンクの色別カードで表現する。 <可視化> ☆大型提示装置に映</p>	<p>○自分の体験を踏まえて、人間のもつ弱さや醜さについて考えさせる。【価値理解】</p> <p>○トップアスリートでさえも、弱い心をもっていることを理解させ、A社に向かわずにはいられなかったエイミーの苦しい気持ちに気付かせる。【人間理解】</p> <p>○生徒から心の弱さや醜さについての発言が出なかったら、「なぜ、A社に向かうのを踏みとどまることができなかったのだろうか。」と問いかける。</p> <p>○自分ならどうするかと、主人公に自分を重ねながら考えさせる。</p> <p>○色別カードを大型提示装置で共有しながら議論を深めることで、友達のことを知ったり、自分の考えと比較したりして、多面的・多角的な考えをもてるようにする。【他者理解】</p>

<p>S : 自分を信じ、応援してくれた人を裏切りたくないから。</p> <p>【発表しない】</p> <p>S : ドーピングと認められたわけではないし、認めたら地位や名誉を失ってしまうのが怖いから。</p> <p>S : 非難を浴びてつらいし、優勝賞金や金メダルをなくしたくない。</p>	<p>った友達の色別カードを確認する。</p> <p><共有, 比較></p>	
<p>エイミーは、ドーピングを告白しようと思ったのはなぜだろう。</p>		<p>○Google Jamboardに自分の考えを短い言葉で表現させ、それを基に小グループで詳しく説明し合い、多様な感じ方や考え方に出来るようにする。【他者理解】【価値理解】</p> <p>○話合いが深まらない班があったら、他の班のシート等も参考に話し合うように指示する。</p> <p>○補助発問として、「ドーピングを告白していなかったら、エイミーはどのような気持ちで生活していただろうか。」と問いかけ、自分をごまかしたことによって負った心の傷は、いつまでも消えないことにも気付かせる。</p> <p>○人は正直に生きることで弱さを克服できることや、よりよい人生につながっていくことを理解させる。【価値理解】</p>
<p>S : 本当の自分でいたい。</p> <p>S : 仲間が存在。</p> <p>S : 苦しみにたくない。</p> <p>S : 前向きに生きられる。</p> <p>S : 嫌な気持ちをずっと引きずりたくない。</p>	<p>☆グループごとにGoogle Jamboardを使い、議論する。</p> <p><共有, 比較></p>	<p>○人間は、弱さ・醜さ、強さ・気高さの両面をもっているが、自分の心の中にある良心に従うことが、誇りをもって気高く生きるために必要であることに気付かせる。【価値理解】</p> <p>○補助発問として、「エイミーの表情がおだやかなのはなぜだろう。」と問いかけ、気高く生きようとすることによって、得られるものがあることに気付かせる。</p>
<p>4 資料3 (p13406～ラストまで)を読み、道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについてもう一度意識させる。(10分)</p>		
<p>エイミーのように、自分の中の弱さ・醜さに勝ったとき、人はどんな気持ちになると思いますか。</p>		
<p>S : はればれとした気持ち。</p> <p>S : 自分の心の中にある良心に正直に生きていこう。</p> <p>S : 自分に恥じない人として誇りを持った生き方をしよう。</p> <p>S : もう二度と自分をごまかすのはやめよう。</p>	<p>☆自分の考えを、オクリンクで提出する。</p> <p><思考の整理・共有></p>	

<p>5 本時で扱った道徳的価値に対する 思いや願い、考えを振り返る。(8分)</p>		<p>○事前アンケート④の結果を提示し、誰もがもっている弱さや醜さに負けそうになるかもしれないが、それに打ち勝つたいという意識をもたせる。【人間理解】</p>
<p>今後、このようなことに出会い自分の心の弱さが見えたとき、 どんな自分でありたいですか。</p>	<p>☆これからの自己の 生き方についての 考えをまとめ、オク リンクで提出する。 ＜思考の整理・共有＞</p>	<p>○これから先、自分ならどうするか、自分はどうありたいかと自己の生き方について考えさせ、気付いた自分自身のよさや課題を日常的な道徳的実践へと結び付けられるようにする。</p>
<p>＜振り返り＞ S：弱い心のままだと嫌な気持ちが続くので、負けたくない自分になりたいと思った。だって、いつかはバレーしてしまうだろうし、ずっと不安が消えず苦しさが続くのは嫌だから。でも、誘惑に負けそうになるときもあると思うので、気持ちを強くもって負けないようにしていきたい。 S：やっぱり、ダメだとわかっているけど自分は弱さに負けてしまうかもしれない。だって、非難を浴びてつらい思いをするのは嫌だから。でも、少しずつでもちゃんと向き合って、自分の心の弱さを克服していかなければならないと思う。</p>		<p>○葛藤する心情を自分の言葉を使って自然に表現するため、「だって」と「でも」という接続表現を使って提出させる。</p> <p>○提出されたそれぞれの考えを把握・整理し、意図的指名で生徒の考えを全体に紹介する。</p> <p>○全体で共有したあと、事前アンケート⑤の結果を提示し、道徳的価値に対する考えの変容や深まりを感じることができるようにする。【他者理解】【価値理解】</p>

6 評価

- ・主人公の悩みや葛藤等を自分の体験を踏まえて深く考え、人間として誇りをもって気高く生きていこうという意欲を高めているか。(発言・記述内容)
- ・弱い自分に打ち勝つために大切なことについて、多面的・多角的な見方へ発展させ考えを深めることができたか。(発言・記述内容)

7 板書計画

